



2025年 3月最終ご報告

ぐんまAgri × NETSUGEN 共創 実証事業

**生産者と JA の集出荷・販売業務のデジタル化による「有利販売」の実現
～ 従来の紙や電話などアナログな業務手法による「情報伝達のタイムラグ」を解決～**

2025年3月13日(木)

株式会社kikitori

目次:

- 課題の設定と解決策
- 実証体制図・スケジュール・実証運用の進め方
- 実証の具体的な取り組み
- まとめ

目次:

- **課題の設定と解決策**
- 実証体制図・スケジュール・実証運用の進め方
- 実証の具体的な取り組み
- まとめ

生産者・JAの集出荷・販売業務が紙を中心としたアナログが手法が中心であるため、
生産者の所得の向上に必要な情報の伝達のタイムラグが生じている

- 生産者がJAから、**タイムリーに検品・評価の結果を受け取れない**
- 生産者がJAから連絡される**販売単価をタイムリーに確認できない**
- 最終的な**出荷先への出荷情報の連絡までに時間がかかってしまう**

組合員様とJAが”nimaru”を活用することで、理想の状態を実現する

現状

①組合員はタイムリーに検品・評価の結果を受け取れない

組合員が検品・評価結果の受け取るタイミングが出荷の翌日以降である

②組合員が販売単価をタイムリーに確認できない

組合員の販売単価の受け取りの方法が紙の郵送や手渡しである

③最終的な出荷先への出荷情報の連絡までに時間がかかってしまう

組合員の紙の個票の持ち込みや紙の集計業務により、JAから出荷先市場への出荷情報の伝達が遅くなりがち

“nimaru”のお取り組みを通じて実現

①JAから組合員に対して検品・評価結果を即座にフィードバック

生産者がある情報を次の収穫・選果に役立てて品質を改善

②組合員へのJAによる販売単価のタイムリーな配信

最終的にいくらで販売されたかという情報を組合員がタイムリーに受け取り販売状況を確認し、出荷計画に活用

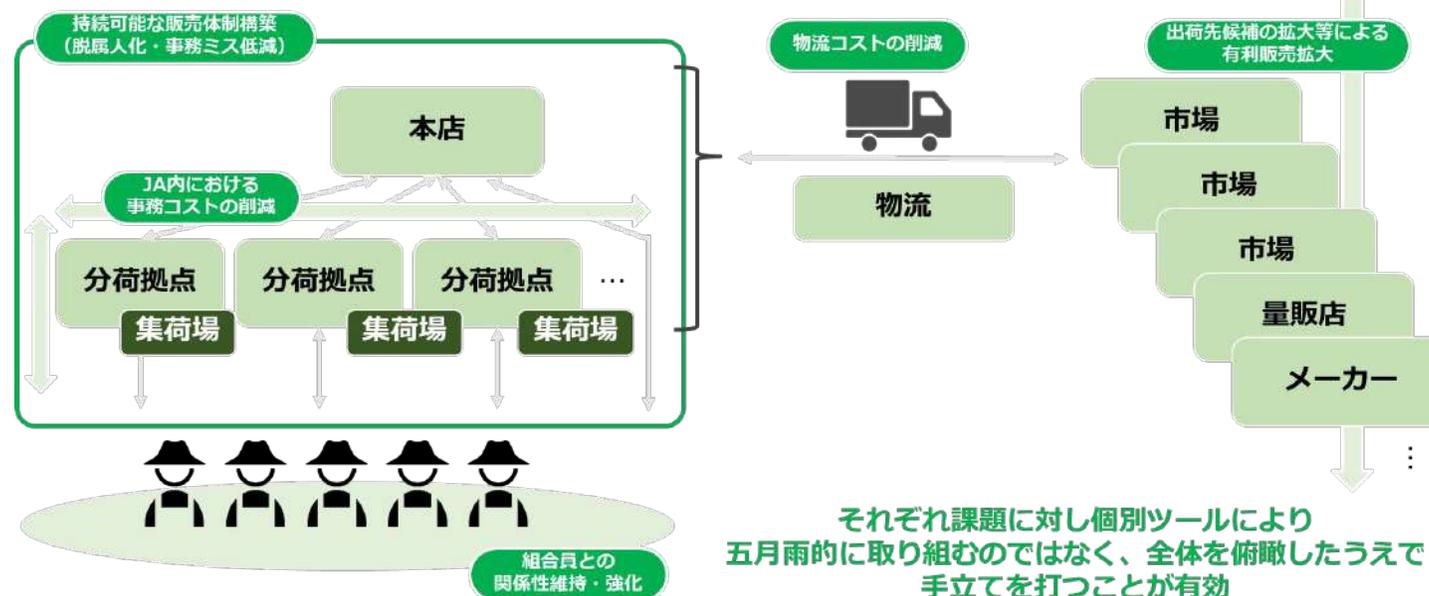
③JAから出荷先へタイムリーな出荷情報の伝達

JAから出荷先への早期の出荷情報の早期伝達による有利販売の実現

nimaruはこれまでのツールにない現場での使い勝手を活かし、
JA様の販売現場の課題に係る様々な課題へのトータルでの解決策提供 を目指しています



JA様の販売現場の課題に係る
様々な課題への解決策のご提供



集出荷クラウド



お知らせ配信



集出荷予約



生産管理
(25年春リリース)

主要機能に限らず、個別ご要望への機能開発も柔軟に対応

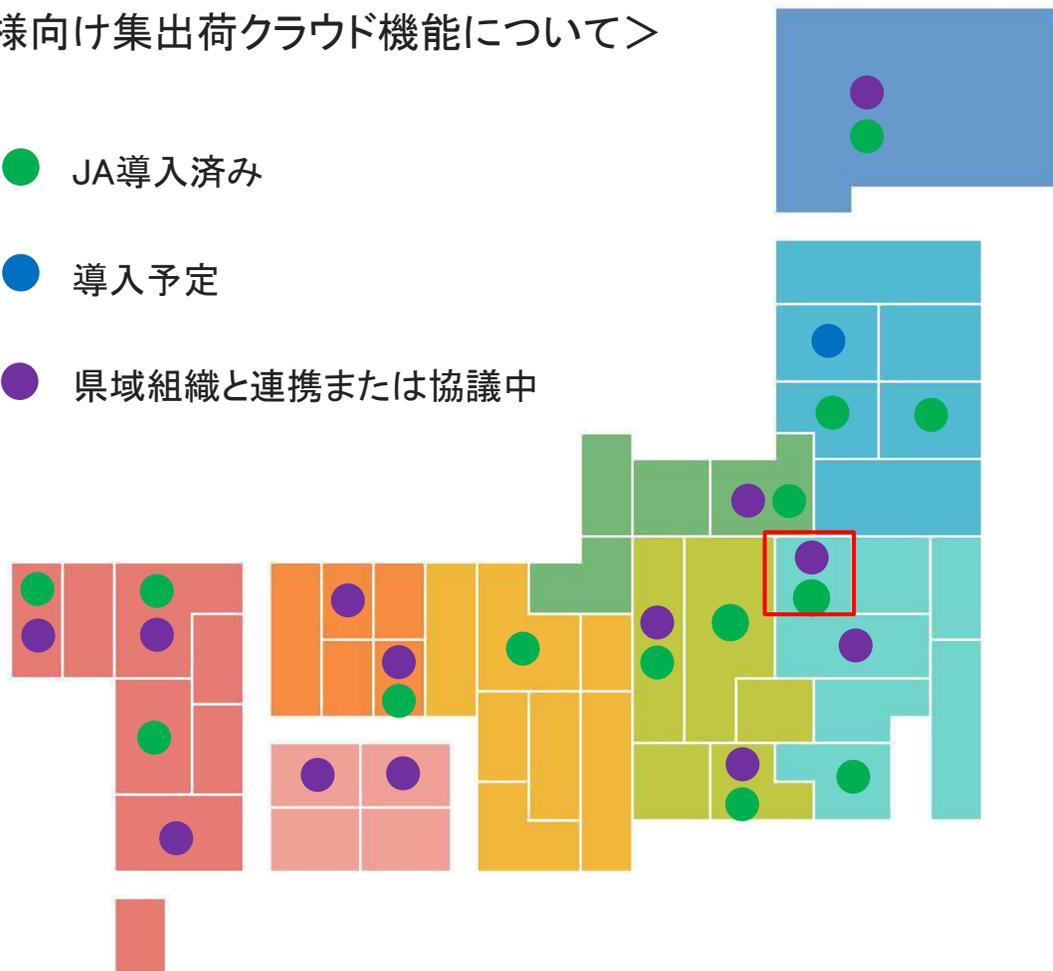
JA様の集出荷業務のDX化 と組合員様へ必要な情報をタイムリーに配信 する事に加え、
 出荷情報を早期に伝達する事によって有利販売を実現 する、事を目指す



全国のJAや卸売市場様にて導入をいただいております

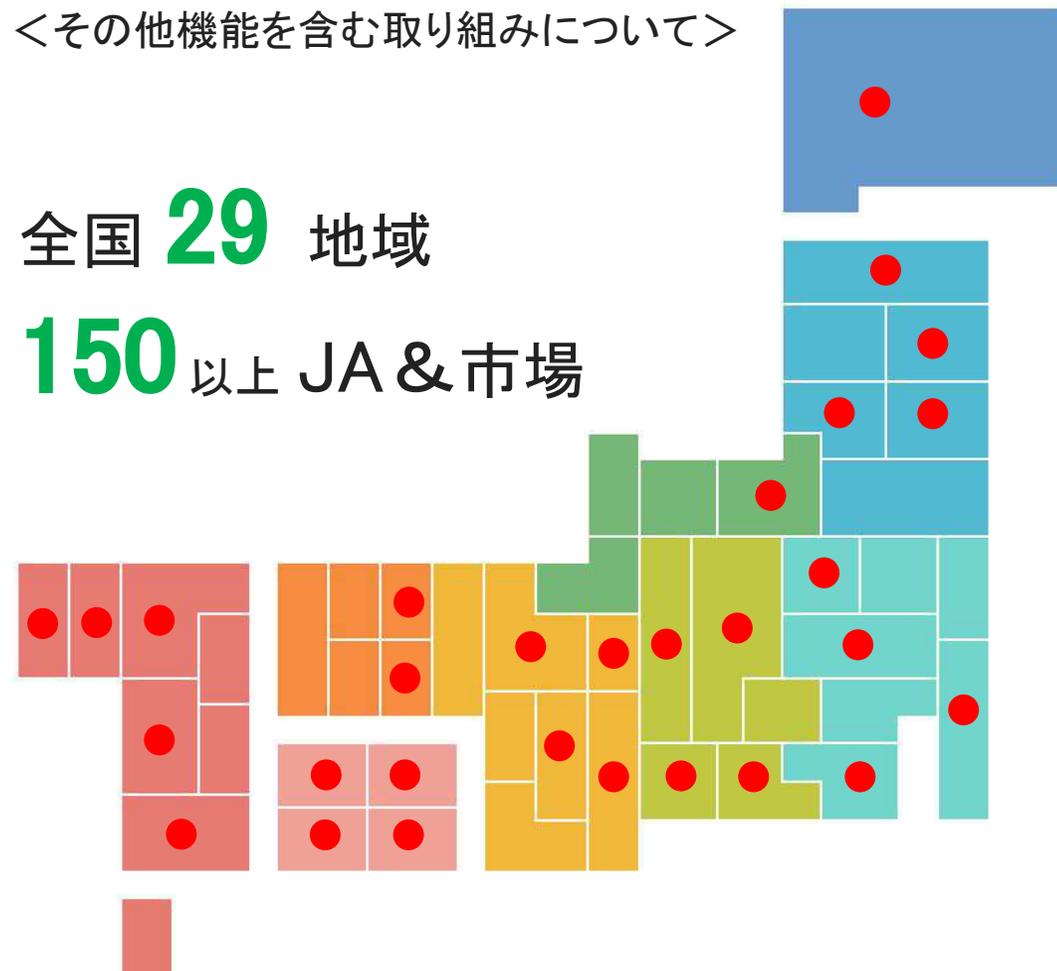
<JA様向け集出荷クラウド機能について>

- JA導入済み
- 導入予定
- 県域組織と連携または協議中



<その他機能を含む取り組みについて>

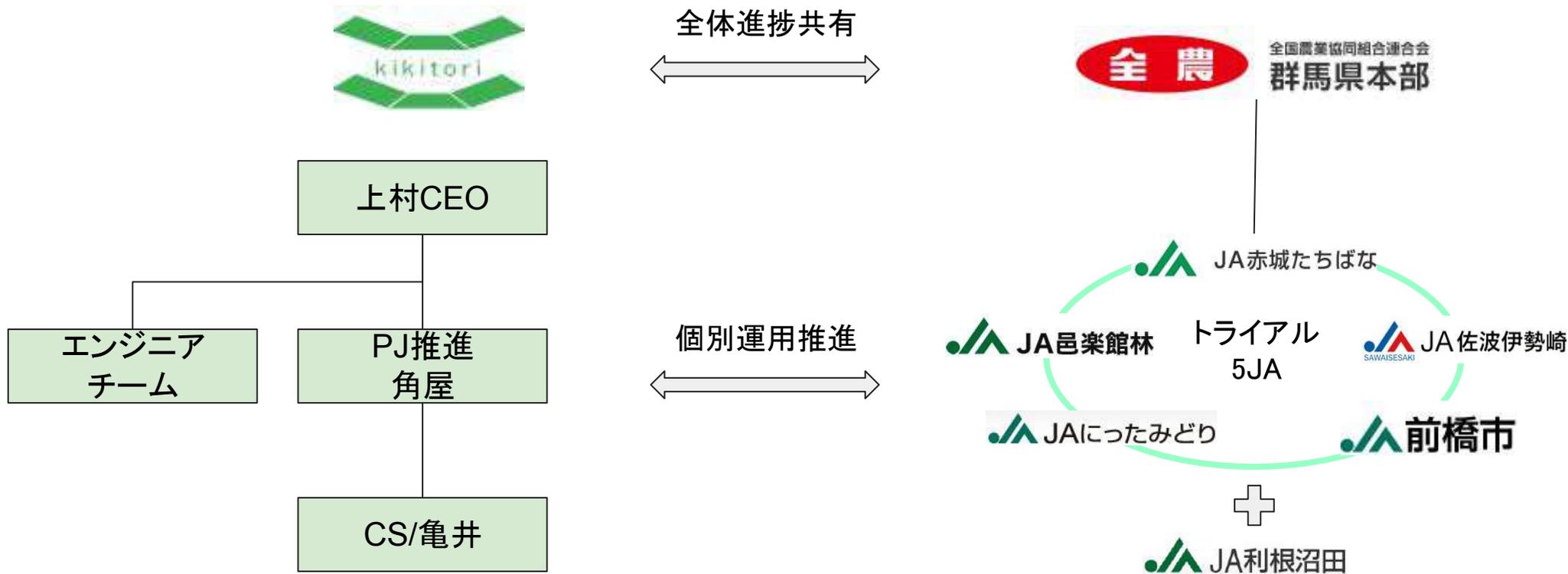
全国 **29** 地域
150 以上 JA & 市場



目次:

- 課題の設定と解決策
- **実証体制図・スケジュール・実証運用の進め方**
- 実証の具体的な取り組み
- まとめ

全農ぐんま様と全体進捗共有を行いながら、トライアル5JAにおけるnimaruJAの運用取組を推進
 またJA利根沼田様が県内6JA目として、25年5月からの開始に向けて準備対応中



1～4までを実証の過程・5を実証後の評価として、各フェーズで必要なタスクを実施し実証を進めていく



また、実証の過程では**継続的なモニタリングを実施し、生産者やJAに対して適切なサポートを実施** する

実証期間中において3JA様がnimaruJA運用中、残り3JA様が運用開始に向けた準備中

JA	品目		2024年												2025年				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
全体		JA等関係事業者へヒアリング・課題	■	■															
		システムに関する仕様策定(要件定義)	■	■	■	■	■	■											
		システム開発	■	■	■	■	■	■											
		事業進捗報告					■			■				■					
		成果報告書の提出													■				
JA赤城たちばな	レタス ミニトマト トマト ズッキーニ 下仁田ねぎ	フィールド実証期間				■	■	■	■	■	■	■							
		本契約						★ 8/28-30 拠点視察会					■	■	■	■	■	■	■
JA佐波伊勢崎	ミニトマト アレッタ ルージュ	フィールド実証期間										■	■	■	■	■	■	■	
		本契約(見込)															■	■	■
JA邑楽館林	いちご トマト	フィールド実証期間											■	■	■	■	■	■	
		本契約(見込)															■	■	■
JAにっただみどり	トマト きゅうり レタス やまといも	フィールド実証期間													■	■	■	■	
		本契約(見込)																	■
JA前橋市	きゅうり	フィールド実証期間		■												■	■	■	
JA利根沼田	レタス 枝豆 だいこん	フィールド実証期間														■	■	■	

プロジェクト計画書において、期待できる成果として下記内容を設定し、以下の成果を得られた

大項目	中項目	期待できる成果	主な成果
1.仕様検討	1-1.システムに必要な機能と仕様の協議・検討	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県のJAがnimaruを導入する際に必要な機能開発 <ul style="list-style-type: none"> -格付け機能 -精算通知機能 	<ul style="list-style-type: none"> 格付け機能: 機能リリース、一部JA様にて活用中 精算書通知機能: 機能リリース、実データ活用による検証を実施を経て生産者様への配信を予定
2.開発	2-1.nimaruと電算システムの連携	<ul style="list-style-type: none"> 実証5JAにおいて電算システム連携を実施(手入力の業務削減) 各種機能の継続開発 	<ul style="list-style-type: none"> データ連携: 3JA様 (JA赤城たちばな、JA佐波伊勢崎、JA邑楽館林) テスト済、運用準備中: 3JA様 (JA前橋市、JAにっただみどり、JA利根沼田) FAX機能、各種帳票類をはじめ機能性向上に向けた機能開発を実施
3.導入	3-1.生産者の巻き込み	<ul style="list-style-type: none"> 実証5JAの対象部会(品目)で生産者がnimaruの取り組みに参加できるように適切なサポートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始前に生産者向け説明会を計14回開催 ※一部JA(JA赤城たちばな)は、JAご自身にて説明会対応へ移行
	3-2.JAの業務フローの整理	<ul style="list-style-type: none"> 実証5JAにて集出荷業務のデジタル化を進めるにあたっての現状の業務フローの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 運用開始前に各品目の運用フローを整理の上で、nimaruJA導入のBefore/AfterをJAと合意するプロセスを経て、トライアル開始
4.運用	4-1.nimaruの活用状況のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 実証5JAの対象品目において、JA職員がnimaruを継続的に利用できるかどうかデータを分析 	<ul style="list-style-type: none"> 3月時点で3JA様が運用中(赤城たちばな、佐波伊勢崎、邑楽館林) JA赤城たちばな: 本契約へ移行、生産者様/職員様インタビューを25年1月末に実施 運用定例会の開催: 運用中の3JA様において、nimaruJAの運用状況を可視化し、運用改善に向けたアクションを整理する定例会を開催
	4-2.nimaruの活用促進	<ul style="list-style-type: none"> 実証5JAの対象品目において、JA職員や生産者がシステムを利用するための適切なサポートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 運用説明会: 運用開始前に生産者様、JA所金様向け説明会の開催 運用マニュアル: JA職員様向けのマニュアルを整備、共有 専任のカスタマーサクセス担当: JA様毎に選任担当を配置して併走 サポート窓口の開設: LINE WORKS、TELを通じたサポート体制

プロジェクト計画書において、期待できる成果として下記内容を設定し、以下の成果を得られた

大項目	中項目	成果	主な成果(主にJA赤城たちばな様、JA佐波伊勢崎様)
5.評価	5-1.定量面の評価	JAから生産者への検品評価のフィードバックの時間の短縮	<ul style="list-style-type: none"> 生産者様は検品結果を手元のスマホで確認可能 手元のスマホでご自身の出荷履歴を確認出来る事は好評、過去の出荷履歴データを今後の生産計画の立案に活用可能
		JAから生産者への販売単価のフィードバックの時間の短縮	<ul style="list-style-type: none"> お知らせ機能配信にて、市況情報を従来より1日早く受領(これまでは生産者が出荷した翌々日以降に紙配布) 手元のスマホで確認可能、データ履歴が追える事に好評
		JAの出荷先事業者ごとの分荷の完了時間の短縮(出荷先への出荷情報の連絡をタイムリーに)	<ul style="list-style-type: none"> nimaruJAデータ連携先の市場:全国70市場に拡大中 従来より市場への連絡が2~3時間早くなった 品目あり(ボタン1つでnimaruJA上で市場へのデータ連携・FAX送信、事前の生産者出荷動向把握によるトラック待機時間の削減含) 市場からの問い合わせ減による業務効率化
	5.評価	作対比での販売単価の上昇率 ※天候や相場等変数が多いため参考値とする	-
	5-2定性面の評価	生産者がnimaruによるJAからの検品・評価の結果のフィードバックを収穫・選果時に活用できたかどうか nimaruでのJAから生産者への検品・評価の結果のフィードバックに対する生産者の満足度 生産者がnimaruによるJAからの販売単価の結果のフィードバックを収穫や出荷の計画に活用できたかどうか nimaruでのJAから生産者への販売単価のフィードバックに対する生産者の満足度 nimaruでのJAの分荷完了時間を短縮(出荷先へのタイムリーな出荷情報の伝達)の取り組みに対するJA職員の満足度	後述 ※25年1月より本導入へ移行したJA赤城たちばな様においては、既存の生産者様ユーザーより他品目でも活用していきたい、といった声あり

目次:

- 課題の設定と解決策
- 実証体制図・スケジュール・実証運用の進め方
- **実証の具体的な取り組み**
- まとめ

群馬県内では**25年5月までに群馬県内6JA様**にご活用頂く見込
 運用品目の拡大と共に連携生産者数も順次拡大

	運用開始	主な運用品目 (順次品目・地区を拡大見込)	連携生産者数 (25年3月10日現在)
 JA赤城たちばな	24年7月～	レタス、ミニトマト、ズッキーニ、 下仁田ねぎ、アレッタ等	103名
 JA佐波伊勢崎	24年12月～	ミニトマト、アレッタ、ルージュ	77名
 JA邑楽館林	25年2月～	やよいひめ、ブリックス・ナイン	30名
 JAにったみどり	25年4月～	きゅうり、ヤマト芋、トマト、レタス	66名
 JA利根沼田	25年5月～	レタス、えだ豆、ちゃ豆、だいこん	—
 前橋市	25年5月～	きゅうり(小規模部会)	5名
⋮			

要件定義を行った後、**2つのカスタマイズ機能は24年中に開発・リリース済**

格付け機能: 県内一部のJA様にて運用中

販売単価(精算情報)の配信: 25年3月よりトライアル運用を開始予定

機能名称	内容	最終結果
格付け機能	JAが生産者から出荷された青果物の検品・評価を行う際、当階級に対して最大7段階の格付け評価を実施しており、当該機能をnimaruに実装する。 ※ 格付けは、他都道府県では見られない群馬県独自の検品評価の方法。	<ul style="list-style-type: none"> ・24年7月までに開発・機能リリース ・一部県内JA様にて当該機能を運用中
販売単価(精算情報)のデータ配信機能	生産者に対して販売単価を紙ではなく、nimaruからデータ配信にて実施する機能を実装する。	<ul style="list-style-type: none"> ・24年11月までに開発・機能リリース ・電算センター様より共有いただいた実データを活用した検証を実施 ・25年3月よりトライアル運用を開始予定

荷受・検品画面において格付けを行う画面例

kikitoriデバック用 ▾

- 共販
- 売立入力
- レポート
- 連携データ
- 組合員用画面
- お知らせ配信
- マスタ登録
- ダッシュボード

入荷
分荷

集荷方法
 持ち込み

規格	入数	格付け	数量
A 2 L	12入	格付け <input type="text" value="格付け"/>	<input type="text" value="0"/> 格付けを追加
A L	12入	格付け <input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="9"/> 格付けを追加
A M	12入	格付け <input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="18"/> 格付けを追加
A S	12入	格付け <input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/> 格付けを追加

削除
キャンセル
保存

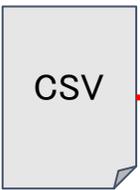
JA様にて精算情報csvをnimaruJAにアップロードし、生産者毎の精算情報の確認が可能
 生産者様はお手元のスマホから配信された精算情報を確認する事が可能

販売代金

荷受日
2024/12/11 - 2024/12/13

生産者

荷受日	生産者	商品	販売金額(税込)	控除金額(税込)
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]
2024/12/12	[REDACTED]	ミニトマト (パック) / 200g / パ...	[REDACTED]	[REDACTED]



csvファイルを取込み、該当箇所に表示



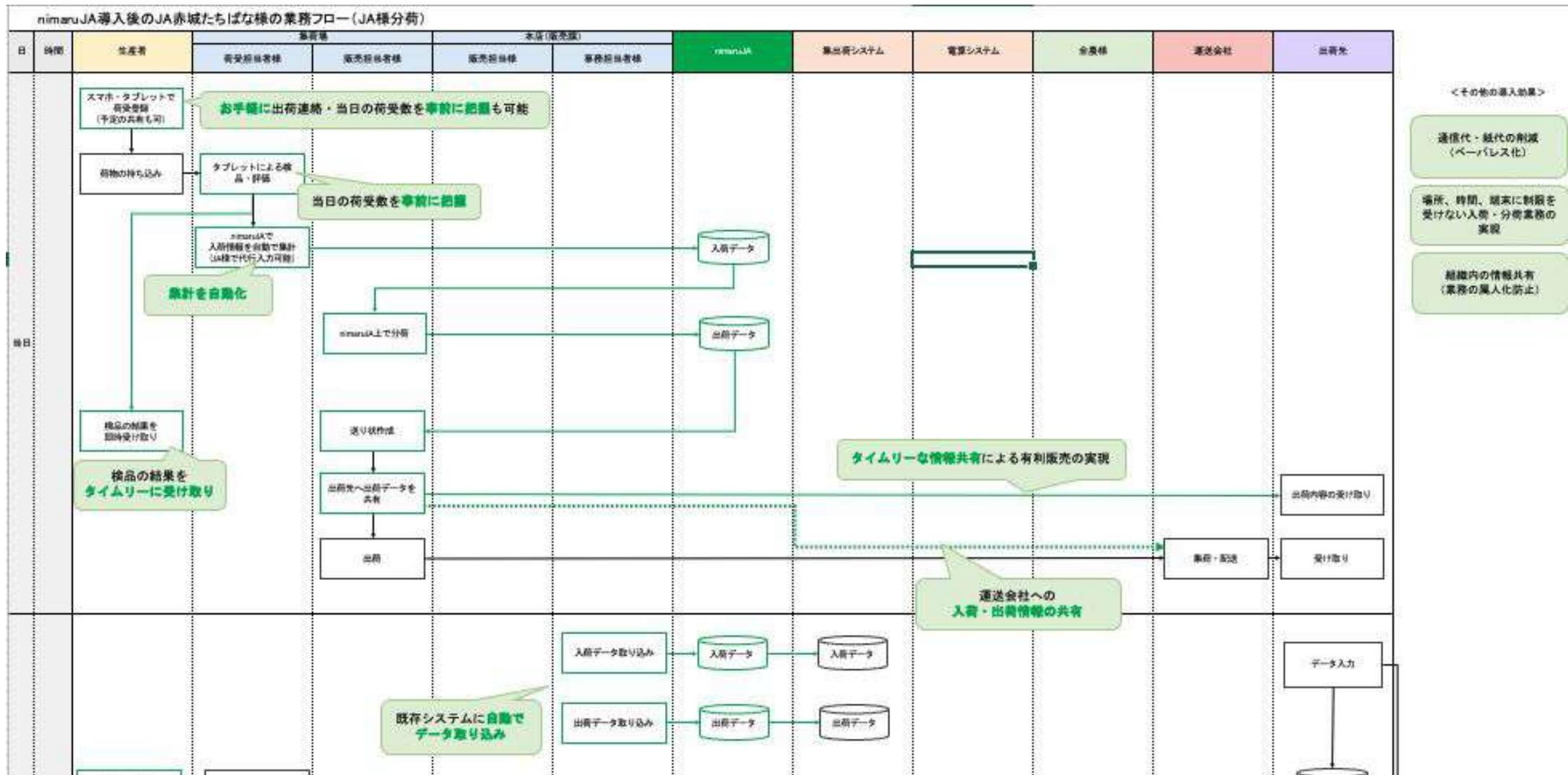
共販規格 むきネギ(定数),5kg,DB...	控除明細
出荷日 2024/02/10	系統手数料 税率8% ¥2,161 非課税
2024/03/27 生産分 #150	出荷奨励金 税率8% ¥-3,672 非課税
販売	農協手数料 税率8% ¥7,131 非課税
販売金額計 ¥121,306	運賃 税率8% ¥-3,672 非課税
数量計37 内税 ¥380	控除 ¥20,261 非課税
販売明細	支払金額
3L (12入) ¥12,345 ¥140.15 x 18	¥160,288
AS (12入) ¥116,550 ¥140.15 x 33	備考
控除	text
控除金額計 ¥51,856 内税 4,714	

スマートフォン上の精算情報確認イメージ

既存の電算システムとの連携により、拠点の入荷・販売データを直接取り込むことが可能
現在運用中3JA様は電算システムとの連携環境を構築済、残り3JA様も同様の環境を構築 予定



運用開始前にJA様と現状の業務フローを詳細にヒアリング・確認させていただき、
nimaruJA導入前(As is)と導入後(To Be)の姿を合意の上で運用を開始 するプロセスを踏んでいる



目ぞろえ会や反省会のタイミングにて生産者様にご参集 いただき、nimaruのお取組をご紹介
その場でQRコードを読み込んでいただき、nimaruJAのご登録を実施

LINE でお友だち登録するだけ

**LINEでJAと
カンタンやりとり!**

FAXを確認なくていい!

お知らせ受取がこれひとつでカンタンにできる!

- 1. どこでもカンタン受け取り!**
JAからさまざまな情報をLINEで手軽に受け取ることができます。
- 2. 見返しもラクラク!**
受け取った情報はデータで残るので紛失の心配もなく、振り返りもラクラク。
- 3. 必要な情報だけ届く!**
所属部会に関わる情報など必要な情報だけを手軽に受け取ることができます。

詳しくは、JA担当者もしくは下記番号までご連絡ください。

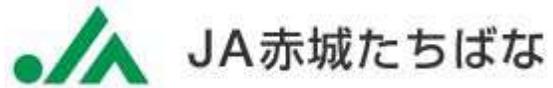
ききとり農業協同組合 03-3783-1315



ズッキーニ生産者様向け説明会(9月3日)



下仁田ねぎ生産者様向け説明会(10月9日)



ミニトマト生産者様向け説明会 (9月19日)



アレッタ生産者様向け説明会 (9月27日)



nimaruJAの操作説明を中心にJA職員様向け説明会をnimaruJA運用開始前に実施



JA職員様への操作説明会の例

nimaruJA ユーザーマニュアル	
重要	
<ul style="list-style-type: none"> このマニュアルに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。 説明で使用している画面は一例です。ご使用の環境によって、仕様や手順が一部異なる場合がございます。 	
内容	
重要	1
用語と定義	4
ログイン	4
ログアウト	5
マスタ登録方法	6
マスタ登録の順番	7
共通（必須）	7
お知らせ配信（任意）	7
集出荷（共販 必須）	8
集出荷（個販 必須）	8
1. 職員の登録をする	9
2. 生産者の登録を設定する	10
生産者を検索する	11
3. 生産者グループを登録する	12
4. 部会の登録をする	12
5. 拠点を登録する	13
6. 運送事業者を登録する	13
7. 出荷先の登録をする	14
8. 集荷場の登録をする	14
9. 集荷方法の登録をする	14
10. 商品分類の登録をする	15
	1

nimaruJA お知らせ配信 ユーザーマニュアル	
重要	
<ul style="list-style-type: none"> このマニュアルに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。 説明で使用している画面は一例です。ご使用の環境によって、仕様や手順が一部異なる場合がございます。 	
内容	
重要	1
ログイン	3
ログアウト	4
マスタ登録方法	5
マスタ登録の順番	5
必須項目	5
任意項目	5
1. 職員の登録をする	6
2. 生産者の登録を設定する	7
生産者を検索する	8
3. 生産者グループを登録する	9
4. 拠点を登録する	9
5. 支店を登録する	10
生産者の招待	10
生産者による登録	11
お知らせ配信	12
生産者にお知らせを配信する	12
生産者アンケートを実施する場合	13

ユーザマニュアル(集出荷クラウド、お知らせ配信)

生産者様だけでなくJA職員様も安心して**継続運用頂くためのサポート体制**を整備

業界の現場に精通した 担当者による導入サポート



システム導入前の準備から実際の利用開始まで、丁寧なサポートにより円滑なサービス導入をお手伝いします。

現場での活用促進に向けて 導入後も手厚く支援



職員様向けの操作説明や導入後の積極的な活用支援等を通じて、事業者様による最大限のサービス活用を推進します。

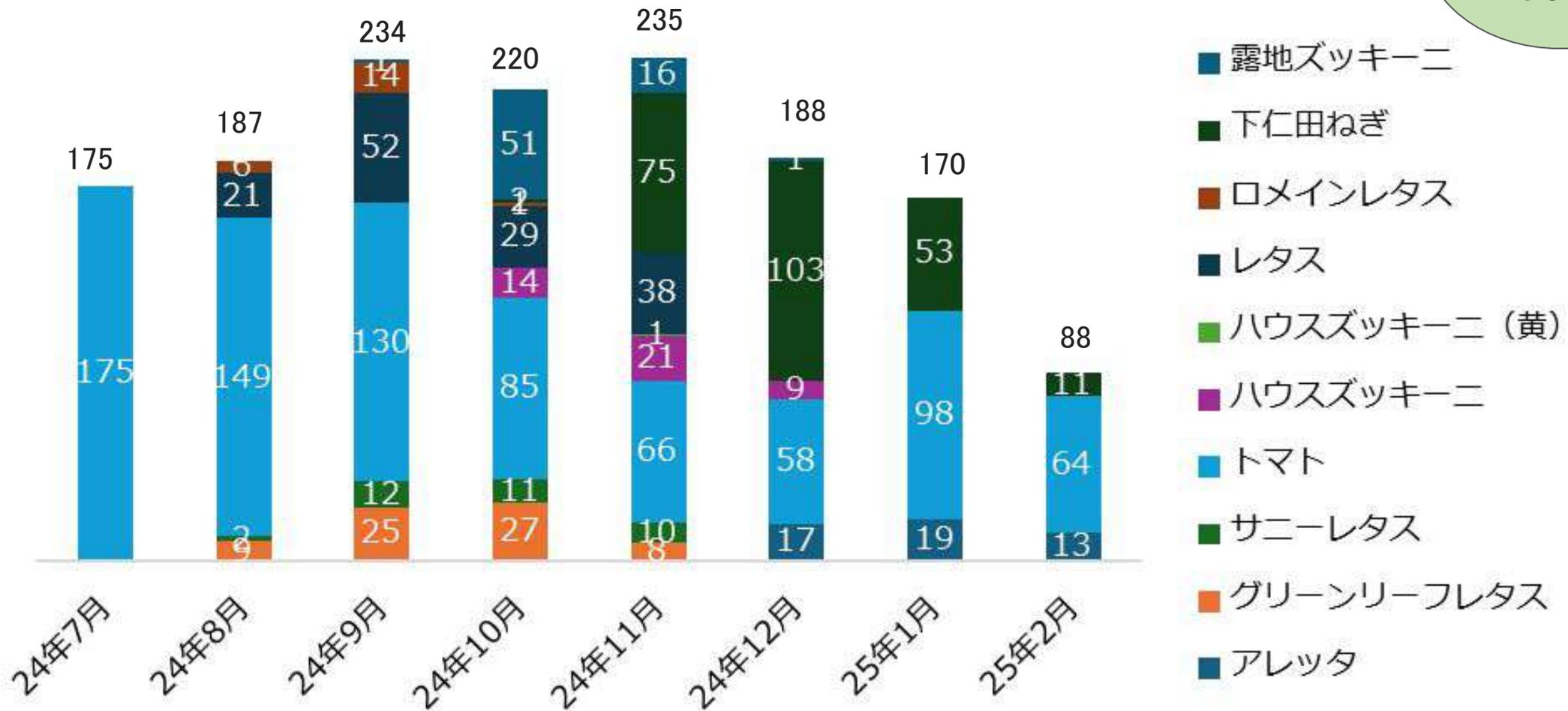
専用のサポートチームが日々 の運用を支援



専用のサポートチームが、各種お問い合わせや突発的な事象に柔軟且つ丁寧に対応。円滑なシステムの運用をサポートします。

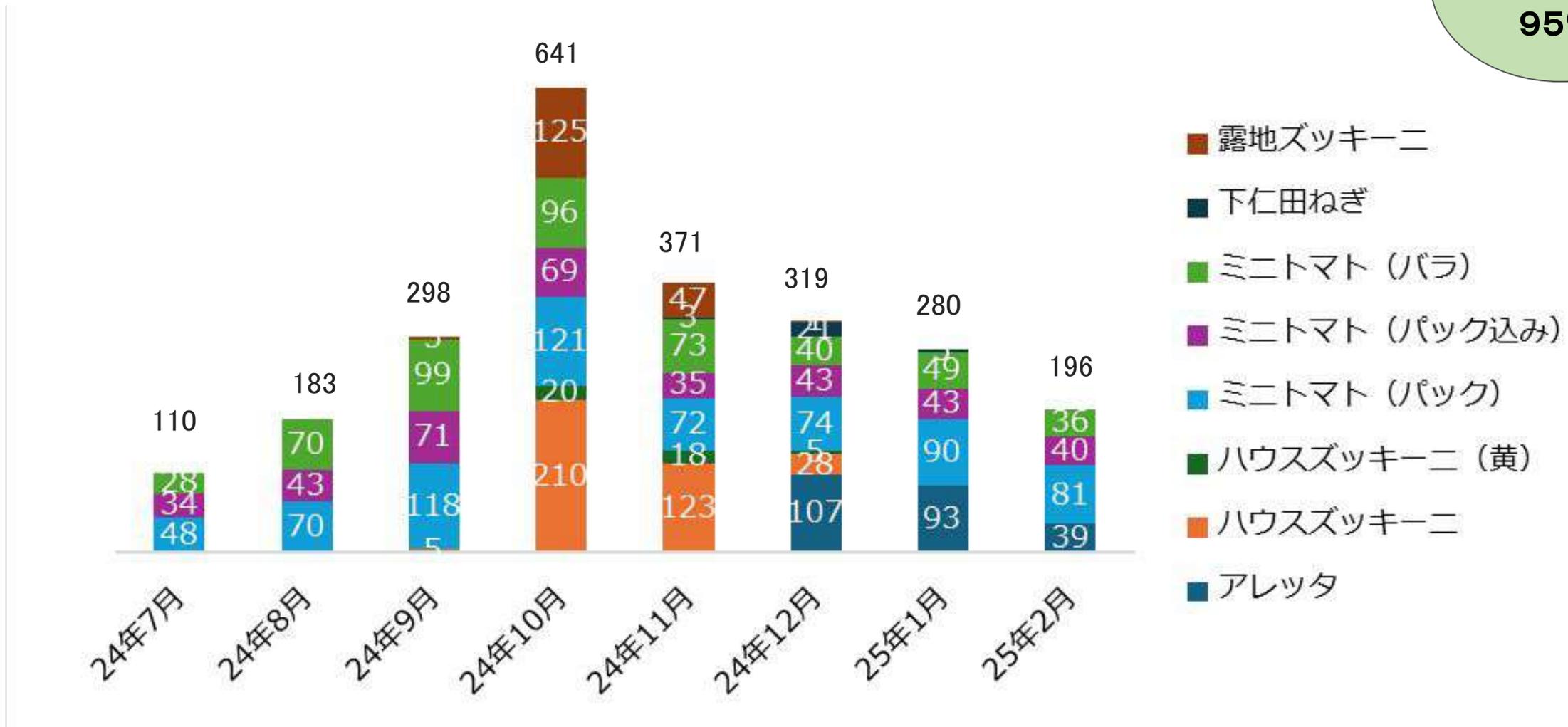
平均200前後の荷受数で運用中
 (25年2月末までの累計荷受数 1,497)

生産者
 出荷連絡率
 95%



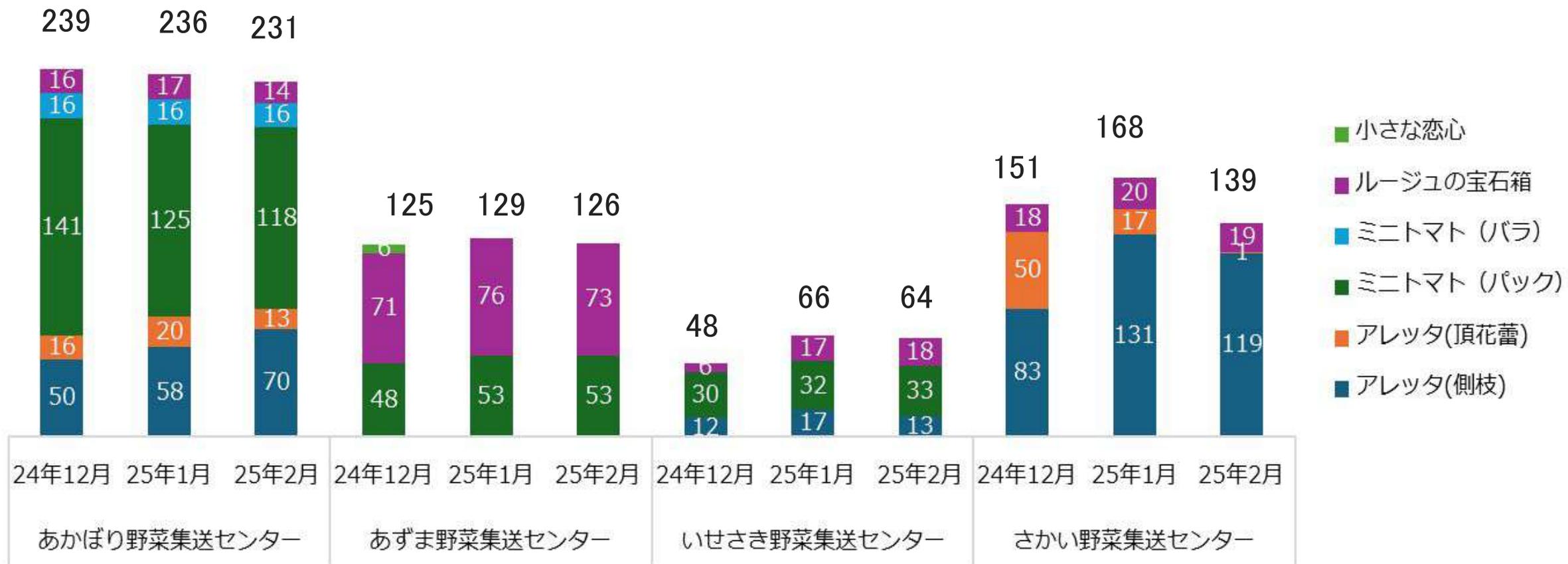
10月にピークとなる641荷受数、以降は300前後の荷受数で運用中
 (25年2月までの累計荷受数 2,398)

生産者
 出荷連絡率
 95%



nimaruJA運用開始以降、4つの営農センターにて安定的に運用中
 (25年2月末までの累積荷受数 1,722)

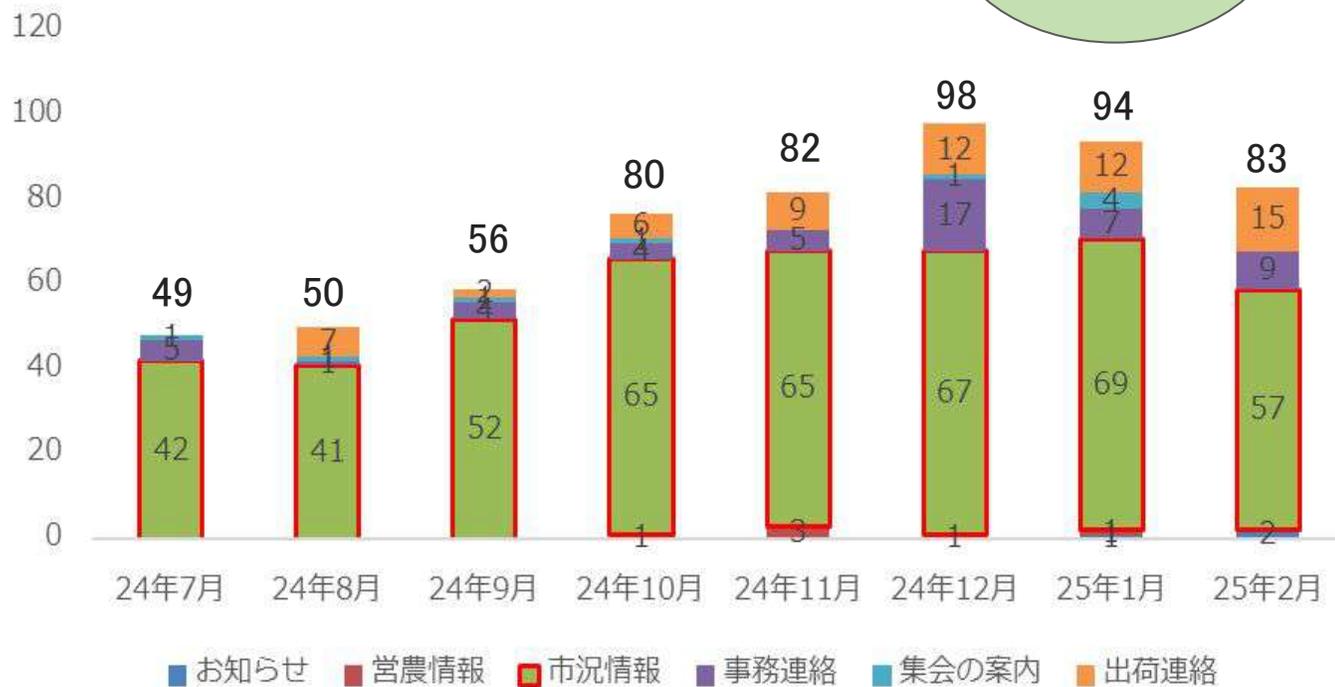
生産者
 出荷連絡率
 96%



JA赤城たちばな様は**市況情報**を中心に配信、10月以降は月平均80通以上の配信数
 JA佐波伊勢崎様は**集会案内**を中心に配信、既読率は9割を超えている

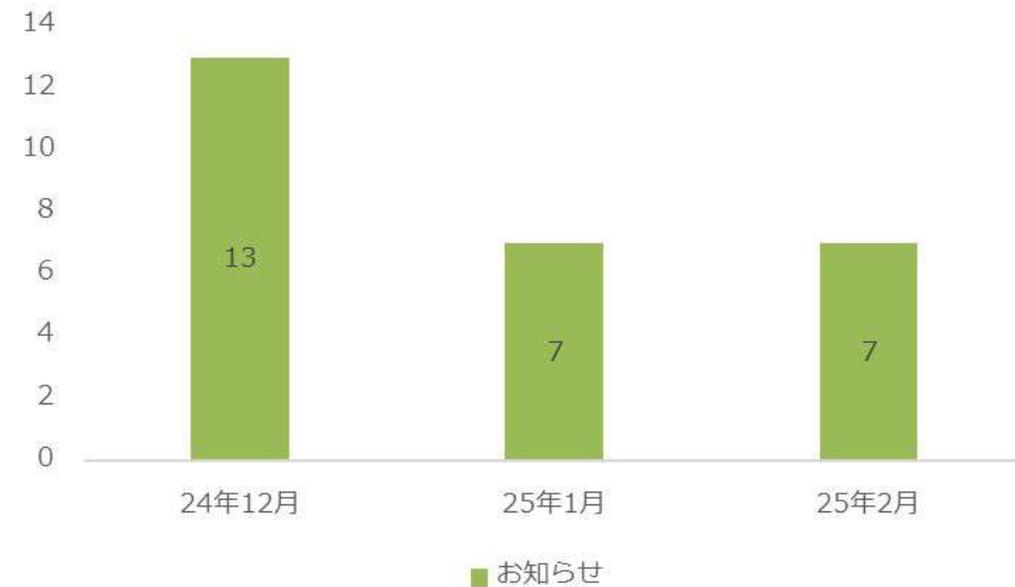
JA赤城たちばな

生産者
平均既読率
70%

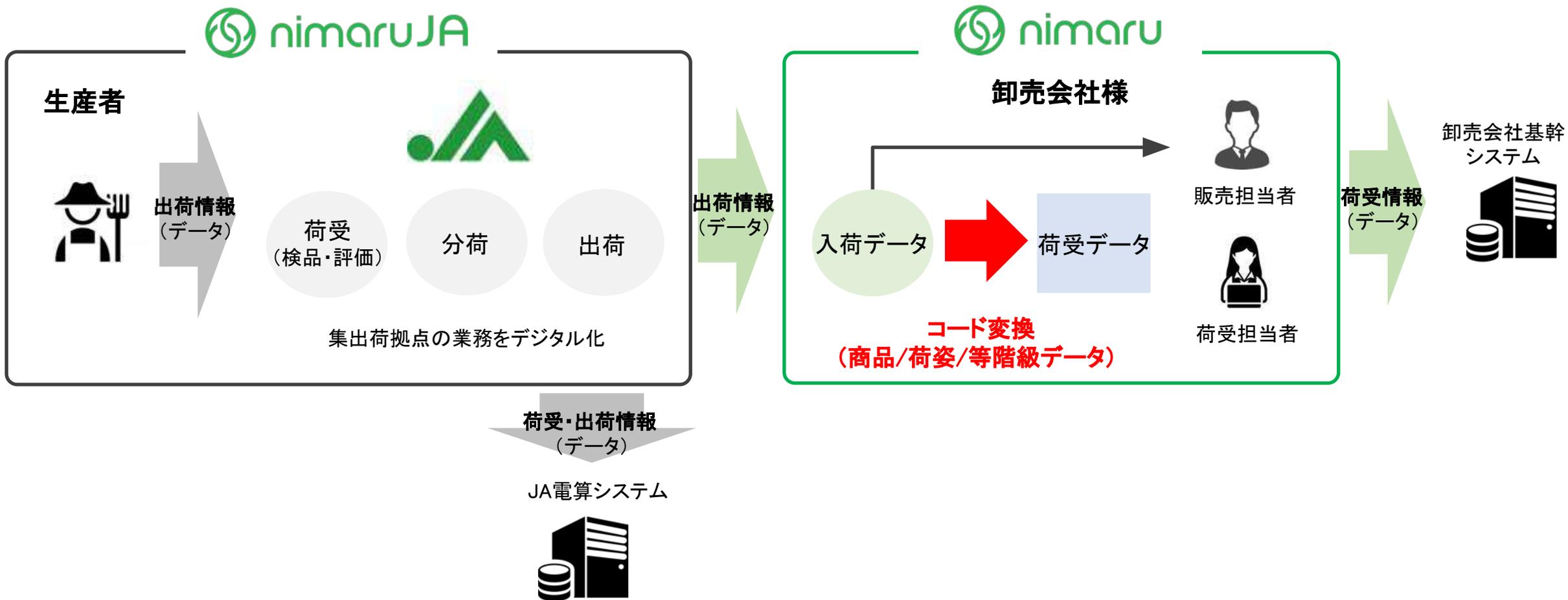


JA佐波伊勢崎

生産者
平均既読率
95%



JA様からの出荷データを出荷先の卸売会社様の販売システムで活用できる形でデータ連携 の環境を整備
早期に出荷データを共有、また手軽に受領出来る環境を構築する環境による有利販売を実現



クラウドの仕組みにより情報の共有や全ての処理がスマホやタブレット、PCで可能

25年1月29日にJA全農ぐんま様立会いの下、**職員様向けインタビュー**を実施
併せて、**nimaruJAをご活用いただいている生産者様へもインタビュー**を実施



JA赤城たちばな 職員様向けインタビューの様様



JA赤城たちばな 生産者様向けインタビューの様様



生産者様、JA職員様双方より以下のフィードバックを受領
実証開始前に設定した 3つの課題に対して、概ねポジティブなフィードバック を得られた

- JA様からの検品結果、市況等情報をタイムリー且つ手軽に受領できて便利
- 手元のスマホで手軽に過去の出荷履歴をデータ管理できるので、今後の生産計画に活用が可能
- 出荷伝票の手書きが不要で楽になった



生産者様

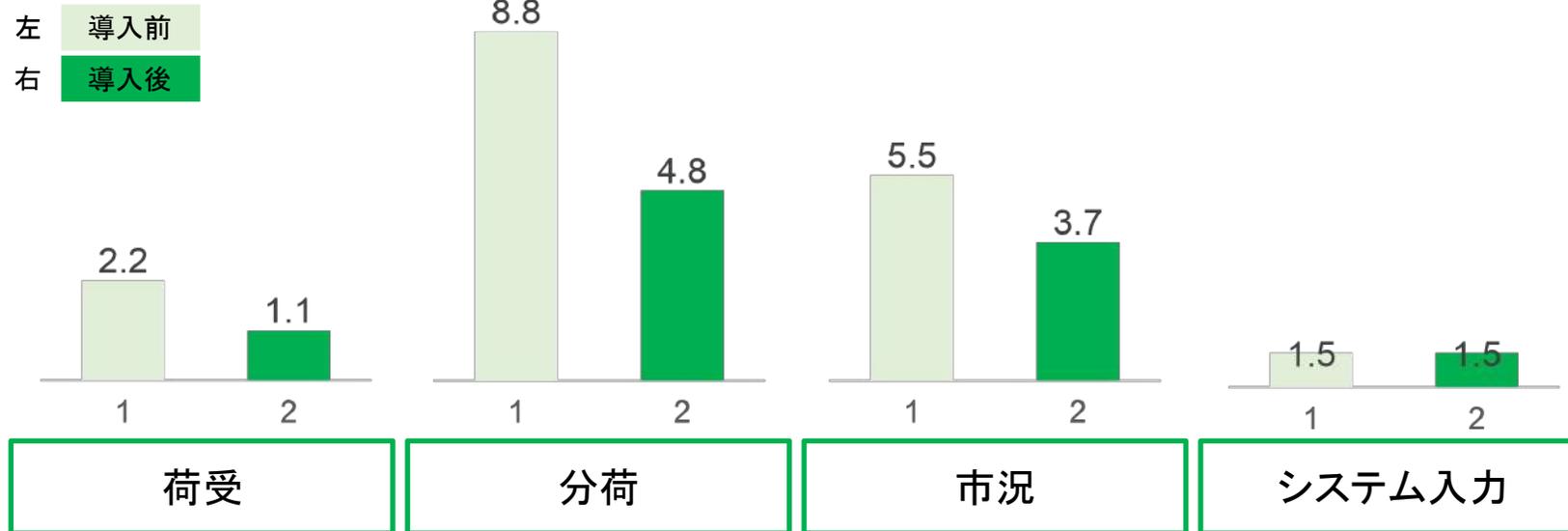
- お知らせ機能にて市況情報を従来比で1日早く配信する事による生産者満足度Up
- 出荷先市場への早期FAX、データ連携による有利販売の可能性(従来より2~3時間早く情報伝達)
- クラウド環境で時間と場所を選ばず業務可能による効率化(リアルタイムに荷受状況把握、分荷指示等)



JA職員様

先行的に導入した1品目(ミニトマト)のみで、月間7時間のJA様の工数を削減 出来た事を確認。
 (生産規模の大きめの品目への導入や対象品目の拡大することで、更なる導入効果が期待される)

試算前提					
品目	ミニトマト	拠点	営農経済センター	生産者	6名



現物照合
結果の集計

分荷数量の確定
出荷報告書の作成
市場へのFAX送信

市況データの作成
組合員への配布

電算へのデータ連携

月間の工数削減時間

7時間 ↓

導入前: 18時間
導入後: 11時間

削減率

39% ↓

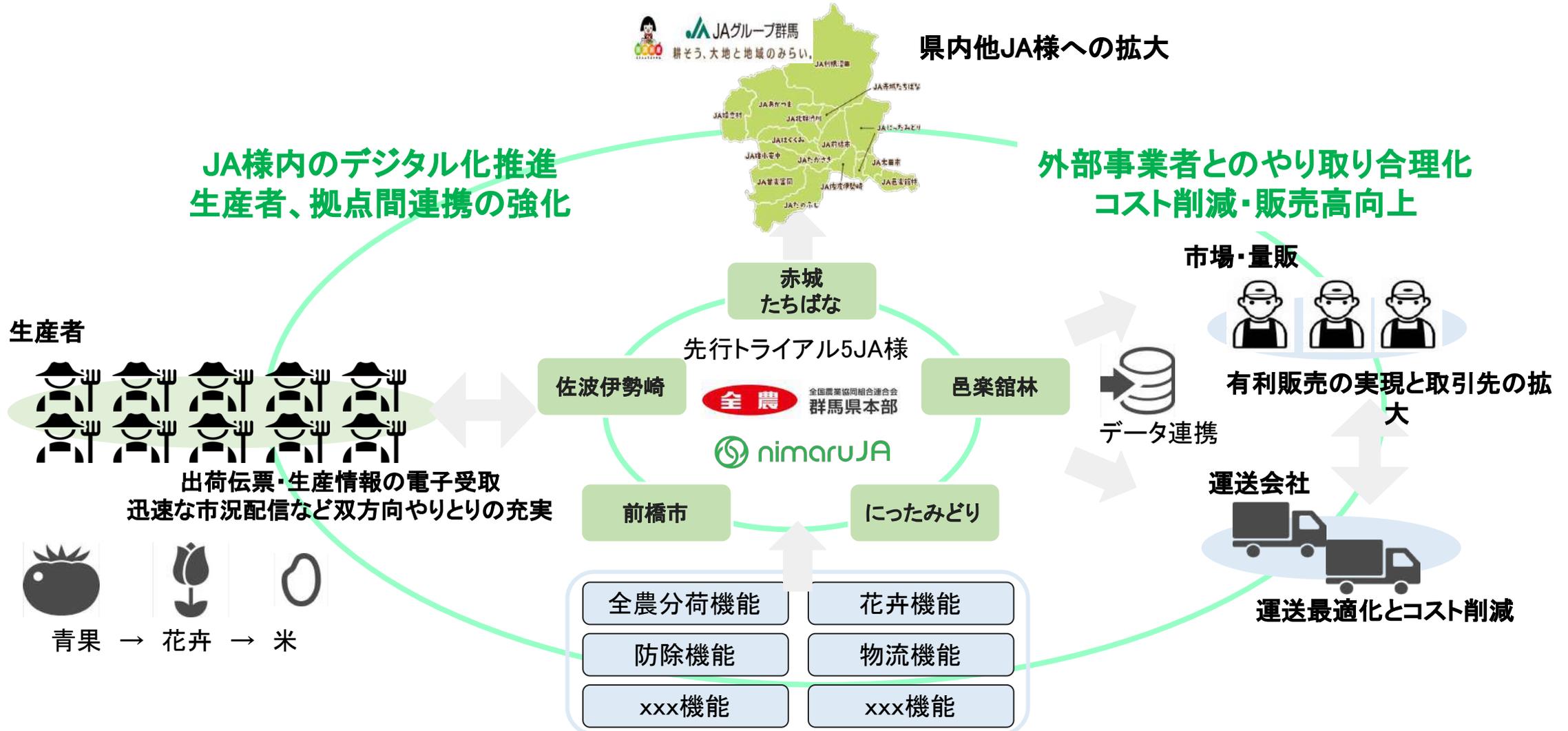
目次:

- 課題の設定と解決策
- 実証体制図・スケジュール・実証運用の進め方
- 実証の具体的な取り組み
- まとめ

各タスクにおいて、本実証期間中にそれぞれ以下の通りの成果を得られた

<h2>1.機能検討</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ・システムに必要な機能の協議・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● カスタマイズする2つの機能を開発・リリース <ul style="list-style-type: none"> - 格付け機能:一部JA様にて運用中 - 精算通知機能:電算センター様ご提供データを活用して検証、3月より運用予定
<h2>2.開発</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ・nimaruJAと電算システムの連携 ・nimaruJAの機能開発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3JAにて電算システムとデータ連携中 ● 運用準備中の3JAは電算センターとの連携テストを実施済 ● 機能、各種帳票類をはじめ機能性向上に向けた機能のリリース、開発を継続中
<h2>3.導入</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者の巻き込み ・JAの業務フローの整理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産者説明会(延べ14回、6JA様)の実施 ● 運用開始前に対象品目の運用フローを整理、合意するプロセス に対応中
<h2>4.運用</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ・nimaruJAの活用状況のモニタリング ・nimaruJAの活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● JA職員向けの導入説明会 の実施 ● 運用マニュアル、専任担当の配置をはじめとするサポート体制の整備 ● 運用開始後の運用フォローアップ定例会 を開催
<h2>5.評価</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ・定量面での評価 ・定性面での評価 	<ul style="list-style-type: none"> ● JA赤城たちばな様にて運用インタビュー を実施 ● 定量、定性の両面において一定の成果創出 を確認

トライアル5JA様を皮切りに**生産者、市場・量販、運送会社との連携を強化**
 関係者間の**情報・やり取りをデジタル化**し、JAグループ群馬様の**経済事業高度化を実現**していく



県内他JA様への拡大

nimaruJAの継続的な機能開発

全国のJA様へ取り組みを拡大中です



株式会社kikitori
システム事業部

TEL: 03-6277-7833

FAX: 03-5544-9917

Email: info@kikitori.jp

HP: <https://sam.nimaru.jp/>

nimaruJAのウェブサイトは↓



Appendix



全農ぐんま様主催にて群馬県内JA様向けにJA赤城たちばな様のトライアル視察会を開催
3日間で約80名(重複含)の方々にご参加頂き、nimaruJA導入状況をご視察頂いた

nimaruJA荷受・検品デモ風景



デモ後の説明・意見交換会風景



- 集出荷業務が**紙**や**Excel**、現場の**経験**と**勘**を中心に行われており業務効率が変わる（すでに荷受システムがある場合も現場で活用が上手く行われていない）
- 紙の転記やシステムへの入力ミス等による**事務ミス**が発生しやすい。
- 組合員や出荷先、運送会社など**外部事業者とのやり取り**に電話やFAX、帳票の手書き、手入力が必要で、日々大きな手間とコストが発生している。
- **各拠点間**でのデータの共有・活用が上手く行われていない



システムを導入しようにも**コストが高すぎて** 導入が難しい

nimaruJAは、組合員や出荷先事業者、運送会社などJA様の販売に関わる様々な事業者と繋がりながら、現場業務のデジタル化が実現できる新しい集出荷クラウドシステムです



< nimaruJAの5つのポイント >

- ① 組合員や出荷先との**データ連携**。荷受や販売業務にかかる職員様の負担を大幅削減
- ② 拠点間での**情報共有**と現場業務の**見える化**
- ③ 既存の**電算システムとの連携**が可能
- ④ 使い勝手の良い**操作性**（最新のWeb技術によるUI/UX）
- ⑤ クラウドサービスで**低コスト** & **手軽**な導入・運用が可能

規格(等階級・荷姿・量目)毎に自動集計出来、効率化

生産者がどのような方法で出荷連絡をした場合も、登録可能であり、効率化

出荷連絡の様々なパターンに対応



スマートフォン
(生産者所有)



タブレット
(農協設置)



個票(紙)

2024/08/09 東部農産流通センター

ズッキーニ 作型:露地栽培 部会:みらい栽培の会 集計ルール:100 荷姿:DB 量目:2kg

入荷 分荷

No	生産者	集荷場	2L	L	M	S	合計	操作	
			入数なし	入数なし	入数なし	入数なし			
前日在庫								0	
入荷合計			43	30	20	17	110		
入荷・前日在庫合計			43	30	20	17	110		
1	山本良二 0001	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場	5	5	5		15		
2	佐藤 幸男 0006	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場			6	6	12		
3	渡辺 健一 0011	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場	10				10		
4	高橋 俊介 0009	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場	5			5	10		
5	埃山 聡 0040	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場		15			15		
6	熊本香苗 0035	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場	3		3		6		
7	中村 隆 0013	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場	11		1		12		
8	岩居ひろし 0045	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場	5				5		
9	千葉房江 0051	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場		10	5		15		
10	小林 修 0014	<input checked="" type="checkbox"/> 集荷場	4			6	10		
新規	生産者	集荷場					0		

nimaruJAは、集荷・販売現場における手書きや手入力、紙やExcelベースの業務を一括でDXできます

既存の処理



nimaruJA



※ スマホを持っていない生産者向けに荷受現場でのタブレットを使ったタッチ形式での登録方法もご用意しています(JA職員様による登録も可能です)

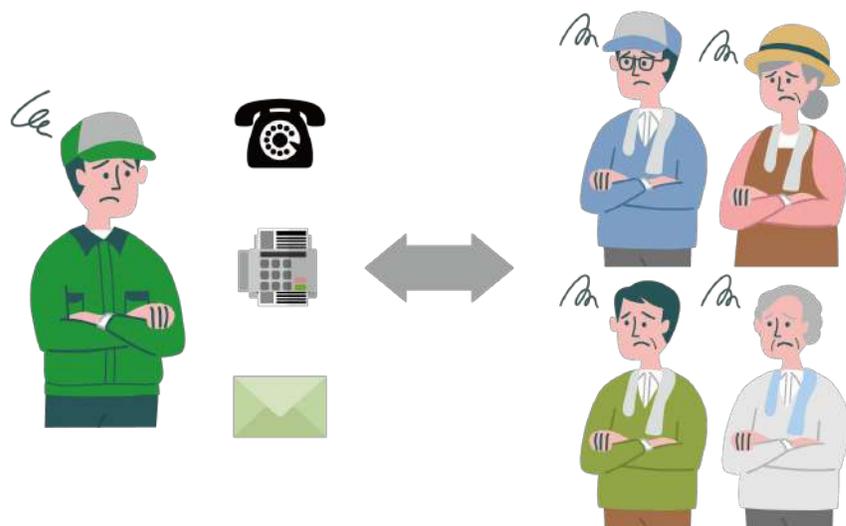
- 職員数の減少により、**人力での情報連絡**（封書の作成や訪問による手渡し）に**限界**がある
- FAX、電話、郵送などの方法では**情報発信コスト**（通信料や郵送料）**が高い**
- 組合員の属性の多様化により**組合員に応じた細やかな情報配信**の必要性が増している
- **タイムリーな情報伝達ができず**、組合員の満足度低下につながるリスク



既存の情報配信方法では
組合員の満足度低下と現場職員の業務負担の増加につながる・・・

nimaruJAは、組合員とのコミュニケーションのデジタル化を通して
JA様の**情報配信コストの低減**、組合員の**満足度向上**を同時に実現します

既存のアナログな情報発信



nimaruJAを使った新しい情報発信



JA様が現場に合わせて実現したい様々な運用をシンプルな操作性で実現します

JA様の実現したい運用に沿った機能が充実

- ✓ 組合員の登録を基幹システムから一括登録
- ✓ 部会や支所等のグループ毎の細かな配信機能
- ✓ 画像・PDF添付による丁寧な配信
- ✓ 職員の負担を考慮した返信の受付管理
- ✓ すぐに集計のできるアンケート機能
- ✓ 既読の管理による情報浸透の可視化



スマホを持たない組合員向けにnimaruJAからFAXでの情報配信も可能です



コミュニケーションのデジタル化を段階的に進めて頂くことが可能となります